

平成 29 年度中小企業等特許情報分析活用支援事業
特許情報分析報告書 (③審査請求段階)

利用者

担当者

様

案件番号	2017-XXXX
------	------------------

2017 年 X 月 10 日

株式会社プラム技術研究所

調査種別： ③審査請求段階

発明の名称：	装置		
出願番号：	特願 2017-xxxx	出願日：	2017/x/x
優先権主張番号：	USxxxxxxx	優先日（優先国）：	666666/333（米国）
公開番号：	特開 2017-xxxx	公開日：	2017/x/x
出願人：	■■株式会社	発明者：	◇◇◇、◇◇◇、他 1
		代理人	x x x、他

調査 範囲	国名	公報種別		調査期間（公報発行日）	添付書類：公報 3 件 (内訳) ・ X 判定 1 件、Y 判定 2 件
	日本	公開系	特許	平成 5 年 1 月 1 日～平成 29 年 x 月 x 日	
		公開系	実案	平成 5 年 1 月 1 日～平成 29 年 x 月 x 日	

【請求項数・構成要件文節】

独立項：1 項、従属項：5 項

CL1: (独立項)

- (A) 軸方向
- (B) 前記光
有する
- (C) 前記カ
具と、
- (D) を有す

CL2:

- (E) 前記光
動部を

CL3:

- (F) 前記駆
軸まわ
を特徴

CL4:

- (G) 重力方
に応じ

CL5:

- (H) 前記駆
部を位
載の医

CL6:

- (I) 前記光
の医療

【調査対象の把握・調査の観点、分類の説明、及び、総合コメント（調査結果要旨）】

・光学装置であって、2系統（枚）の構成と、且つ、2系統が合流する構成が本発明の技術思想と判断し、光

学装置全般の技術分類とフレーズ（キーワード）を選択し検索式を構築し、該当した文献についてスクリーニング調査を実施しました。

- 光学装置であって、2系統（枚）の構成と、且つ、2系統が合流する構成を開示する資料：特開平 9-24XXXXを抽出しました。しなしながら、当該資料では、対向する位置とする構成については開示がありません。
- 光学装置であって、2系統（枚）の構成を開示する資料：特開平 8-8XXXXを抽出しましたが、「集約」、「対向」については言及がありません。
- また、光学装置ではありませんが、2系統の構成を開示する資料：特開平 7-23XXXXを抽出しました。しかしながら、接続部は対向する位置とする構成については開示がありません。
- 以上の通り、抽出資料の開示する技術思想または周知技術を組み合わせても、主として要件 CL1(D)をカバーする技術思想の不足により、本件発明の進歩性に対抗する論理構築は難しいと考察しています。

【調査結果】

文献番号 出願人	判定	関連請求項 番号	開示箇所及び開示内容
<p>特開平 9-24XXXX ■■株式会社</p>	<p>X</p>	<p>CL1 (A)(B)(C)(D) CL2(E) CL3(F) CL4(G) CL5(H) CL6(I)</p>	<p>(A): [0024] 前記硬性鏡 3 … 像や瞳の伝送光学系であるリレーレンズ系が設けられて</p> <p>(B): [0039] …硬性鏡 3 の回転に連動して、撮像素子 2 4 に対して回転可能な構成 [0065] この際、硬性鏡 3 と一体となって瞳選択絞り 3 4 が回転し、ギア 6 3 ~ 6 8 により同じ角度だけ逆向きに撮像素子 2 4 が回転する</p> <p>(C): [0039] …アダプタ 3 5 により硬性鏡 3 の回転によらず撮像素子 2 4 を一定の姿勢に保持できる構造</p> <p>(D): [0064] …術者はアダプタ 3 5 a の外管 6 1 を保持し、他方で硬性鏡 3 を所望の方向に回転させて ・「保持」について言及している。</p> <p>(E): [0039] …硬性鏡 3 の回転に連動して、撮像素子 2 4 に対して回転可能な構成 [0065] この際、硬性鏡 3 と一体となって瞳選択絞り 3 4 が回転し、ギア 6 3 ~ 6 8 により同じ角度だけ逆向きに撮像素子 2 4 が回転する</p> <p>(F): [0039] …硬性鏡 3 の回転に連動して、撮像素子 2 4 に対して回転可能な構成 [0065] この際、硬性鏡 3 と一体となって瞳選択絞り 3 4 が回転し、ギア 6 3 ~ 6 8 により同じ角度だけ逆向きに撮像素子 2 4 が回転する</p> <p>(G): [0045] …TVカメラ 5 には重力により撮像素子 2 4 が常に一定の方向を向くようにウエイト 5 0</p> <p>(H): [0039] …硬性鏡 3 の回転に連動して、撮像素子 2 4 に対して回転可能な構成</p> <p>(I): [0028] …視野方向を斜視化</p> <p>コメント 斜視内視鏡において、軸方向光学系と撮像素子（および結象光学系）とが相対的に回転自在に接続されている構成、技術思想を開示し、且つ、「保持」についても言及があり、X 判定と考察した。</p>

<p>特開平 8-8XXXX ××株式会社</p>	<p>Y</p>	<p>CL1 (A)(B)(C)(D)</p> <p>CL2(E) CL3(F) CL4(G) CL5(H) CL6(I)</p>	<p>(A): [0027] …本体光学系 1 4</p> <p>(B): [0027] …本体光学系 1 4 に対して、その後方に配置されている回転ユニット 1 6 を相対的に回転 [0025] …回転ユニット 1 6 には…撮像素子 1 8 が設けられ</p> <p>(C): [0027] …本体光学系 1 4 に対して、その後方に配置されている回転ユニット 1 6 を相対的に回転</p> <p>(D): [0025] 立体視内視鏡 1 の主要部</p> <p>(E): [0027] …本体光学系 1 4 に対して、その後方に配置されている回転ユニット 1 6 を相対的に回転</p> <p>(F): [0032] …本体光学系 1 4 に対して回転ユニット 1 6 を回転</p> <p>(G): [0031] …左右 (R, L) の撮像素子 1 8 には被写体の重力方向と一致した像 ・重力検知部については言及がないが、重力方向を意識することは示唆している。</p> <p>(H): [0027] …本体光学系 1 4 に対して、その後方に配置されている回転ユニット 1 6 を相対的に回転 ・特に回転角度指定の制限については言及がない。</p> <p>(I): [0035] …斜視観察に伴う像の姿勢の補正を可能</p> <p>コメント 立体もしくは斜視内視鏡において、軸方向光学系と撮像素子（および結象光学系）とが相対的に回転自在に接続されている構成、技術思想を開示している。しかしながら、「保持」については明示がない。本件発明では「保持具」細部（特徴）の技術範囲が明確でないため、自明な技術と判断できるが、敢えて Y 判定とした。</p>
<p>特開平 7-23XXXX ○○株式会社</p>	<p>Y</p>	<p>CL1 (A)(B)(C)(D)</p> <p>CL2(E) CL3(F) CL4(G) CL5(H) CL6(I)</p>	<p>(A): [0088] 前記入力部 3 は、細長の挿入部 3 3 を有し…対物光学系 3 4 と、…リレー光学系 3 5 と、照明光を伝送するライトガイド 4 3 が配置さ</p> <p>(B): [0089] また、出力部 4 は、…、撮像素子 4 0 a, 4 0 b とを有し [0086] …入力部 3 と出力部 4 の境界である連結部 1 7 で回転可能な構成</p> <p>(C): [0045] 前記入力部 3 と出力部 4 との相対的な回転</p> <p>(D): [0151] …回転用のレバー 8 5 a を突出</p> <p>(E): [0086] …入力部 3 と出力部 4 の境界である連結部 1 7 で回転可能な構成</p> <p>(F): [0151] …回転用のレバー 8 5 a を突出 ・「駆動部」を示唆している。</p> <p>(G): [0111] …入力部 3 と出力部 4 とが連結部 1 7 において回転可能としたことで、視野方向と重力方向の一致を図っている。 ・「検知」については言及がないが、重力方向の示唆がある。</p> <p>(H): [0151] …回転用のレバー 8 5 a を突出</p>

		(I): [0034] 前記立体視硬性内視鏡 2 の入力部 3 は、先端が斜視型
		コメント 立体もしくは斜視内視鏡において、軸方向光学系と撮像素子（および結象光学系）とが相対的に回転自在に接続されている構成、技術思想を開示している。しかしながら、「保持」については明示がない。本件発明では「保持具」細部（特徴）の技術範囲が明確でないため、自明な技術と判断できるが、敢えて Y 判定とした。
資料判定：「X 判定」発明の核となる要件、並びに、主たる全要件を開示する、と思われる資料 「Y 判定」発明の核となる要件を開示・示唆する、と思われる資料 「Z 判定」従来技術資料、または、参考的資料		

【利用データベース・検索式】

NRI サイバーパテントデスク 2 (分類記号の検索則＝無印：前方一致、^：階層、\$：完全一致)

No.	検索ターム	検索式	件数
1	公報発行日	19930101:2017xxxx	
2	WD	リレー+光学系+レンズ系	
3	WD	カメラ+撮像+撮影+画像	
4	(論理式)	1*2*3	
5	(論理式)	1*(2+3)	
6	全 IPC	G02B24^+ . . .	
7	全 FI 記号	G02B24^+ . . .	
8	F ターム	4H040+ . . .	
9	WD	撮影+撮像	
10	(論理式)	5*(6+7+8+9)	
11	WD	光学装置	
12	(論理式)	5*11	
	該当件数	4+10+12	

株式会社プラム技術研究所		案件番号：2017-XXXX	
部 署：知財ソリューション部 報告書作成者：○○○○（報告責任者：△△△△）			(承認) (作成)
受付日：2017年V月W日		入金確認日：2017年V月W日	
報告日：2017年X月Y日			